

国民の皆様へ



小山 清人
第12代山形大学長

山形大学は、旧制の山形高等学校、山形師範学校、山形青年師範学校、米沢工業専門学校及び山形県立農林専門学校を母体として、1949年（昭和24年）5月に創設しました。創設以来これまで、国立大学として、また山形県の“知の拠点”として、時代の要請に応えながら着実にその歩みを進めてきました。現在では、6学部・6大学院研究科を有する東日本でも有数の規模を誇る総合国立大学であります。

現在の国立大学を取り巻く状況は、国家の危機的な財政事情により運営費交付金は毎年減額されており、加えて少子化による18歳人口の減少等、大変に厳しい状況であります。ただ、一方では、「大学力」を国力そのものとして重視し、社会のイノベーションの牽引役として国民から大きな期待を集めています。その期待にきちんと応えるためにも、山形大学は不断の改革の努力を積み重ねていかなければなりません。

大学の基本的な役割は、「教育」、「研究」、そして「社会貢献」の3つであります。その中でも、山形大学は「教育」を重視しています。受け入れた学生の一人ひとりに丁寧できめ細かい教育を行い、「優れた人間力」と「高い専門性」を備えた卒業生をできるだけ多く社会に送り出すことが、山形大学の最も重要な使命です。

私は、そのような「教育」の優れた実績をしっかりと積み重ねていくことで、社会からの期待に応えていくとともに、卒業生からは「山形大学で学んで本当に良かった」と言ってもらえる大学創りを目指しております。